



栄花物語

衣の珠
み水
十四



LIII
H

Handwritten text in a cursive script, likely German. The text is contained within a black rectangular border. There are several red ink annotations, including a large red 'H' at the top right, a red 'L' at the top left, and several red vertical marks along the right margin.

Handwritten text in a cursive script, likely German. The text is contained within a black rectangular border. There are several red ink annotations, including a large red 'H' at the top right, a red 'L' at the top left, and several red vertical marks along the right margin.

おのいるるぐさあんとするん。くらあうら
くそゆつらつるををいひをこよひのう
らにみおまひらんをわておとせとゆ
とをせ給。まきこのももんで日ごう
つとごうからせ給くるんのももももも
できえつてをおとる中がどんどのち
ぐさよ一報おぼしのおんことらぐさし
めぐらちきるうらに一とあせと。おぼし
やらんごあまひぐさいもつをとま
くくくおぼしゆとまぐらあまもあ
まめまどぐらとそのまやまを。おんおし

めしてことどもとせ給とく世の終ひの
まゆよ。うらひをまらんことらやお
くおぼされて。まらるるぐくおまあそ
まらんごおぼさる。まらるるまのま
にの終ひまど。九月十八日のよぞおし
まらじにわて。まらるるごの月のす
七日はあまあそゆつる。まらるるを
まらるるあま。まらるるこのまらるる。まら
らるるまらるるのひごららるる。まら
まららるるつる。まらるるのまらるる。まら
らららるるのまらるる。まらるるまらるる。

ちざりきんちまはなみこのみかえん
まらうもくらまやうこそみゆん中かえん
どのおらん

あさうのちまわんてしんせう
はらううかながてちまわんま
ごうのさやのまのまのこ
あさうのちまわんてしんせう
はらううかながてちまわんま
ごうのさやのまのまのこ

あさうのちまわんてしんせう
はらううかながてちまわんま
ごうのさやのまのまのこ
あさうのちまわんてしんせう
はらううかながてちまわんま
ごうのさやのまのまのこ

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or a series of entries, enclosed in a rectangular border. The text is written in black ink on aged paper. There are some red markings or initials interspersed within the text.

Handwritten text in a cursive script, similar to the text on the opposite page, enclosed in a rectangular border. The text is written in black ink on aged paper. There are some red markings or initials interspersed within the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a diary or journal entry, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically from right to left. There are some red markings and a small blue mark at the top of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a diary or journal entry, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically from right to left. There are some red markings and a small blue mark at the top of the page.

— 160 —
— 161 —
— 162 —
— 163 —
— 164 —
— 165 —
— 166 —
— 167 —
— 168 —
— 169 —
— 170 —
— 171 —
— 172 —
— 173 —
— 174 —
— 175 —
— 176 —
— 177 —
— 178 —
— 179 —
— 180 —
— 181 —
— 182 —
— 183 —
— 184 —
— 185 —
— 186 —
— 187 —
— 188 —
— 189 —
— 190 —
— 191 —
— 192 —
— 193 —
— 194 —
— 195 —
— 196 —
— 197 —
— 198 —
— 199 —
— 200 —

— 201 —
— 202 —
— 203 —
— 204 —
— 205 —
— 206 —
— 207 —
— 208 —
— 209 —
— 210 —
— 211 —
— 212 —
— 213 —
— 214 —
— 215 —
— 216 —
— 217 —
— 218 —
— 219 —
— 220 —
— 221 —
— 222 —
— 223 —
— 224 —
— 225 —
— 226 —
— 227 —
— 228 —
— 229 —
— 230 —
— 231 —
— 232 —
— 233 —
— 234 —
— 235 —
— 236 —
— 237 —
— 238 —
— 239 —
— 240 —

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically and appears to be a list or a series of entries. Some words are written in red ink, possibly indicating specific items or headings. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically and appears to be a list or a series of entries. Some words are written in red ink, possibly indicating specific items or headings. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Small handwritten text or markings located at the bottom of the page, possibly a page number or a reference mark.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper and is enclosed in a rectangular border. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. There are several red ink markings, possibly initials or corrections, scattered throughout the text.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. The text is written in black ink on aged paper and is enclosed in a rectangular border. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. There are several red ink markings, possibly initials or corrections, scattered throughout the text.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in black ink on aged paper. There are several red markings, including a large red stamp or seal on the left side of the page and smaller red marks scattered throughout the text. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect of a historical language.

Handwritten text in a cursive script, similar to the text on the opposite page. The text is written in black ink on aged paper. There are several red markings, including a large red stamp or seal on the left side of the page and smaller red marks scattered throughout the text. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect of a historical language.

日あるも物家のくどくをいふとくせつを
たうんちろののどつまあがーあらがはく
げどのくせしちあさくまさくもどくみど
てぐくはりあさくせくはくはくはく
せめさくはくのやせくはくはくはくはく
せくとせくはくはくはくはくはくはく
みどもあさくはくはくはくはくはくはく
しとあさくはくはくはくはくはくはく
ちとせくとせくはくはくはくはくはく
あさくはくはくはくはくはくはくはく
人のうらみとせくはくはくはくはくはく

あらしきせくはくはくはくはくはくはく
かぐらうとららあーうせくはくはくはく
くはくはくはくはくはくはくはくはく
ひとをせくはくはくはくはくはくはく
あらしこのせくはくはくはくはくはく
とのせくはくはくはくはくはくはくはく
せくはくはくはくはくはくはくはくはく
あらしこのせくはくはくはくはくはく
あらしこのせくはくはくはくはくはく
あらしこのせくはくはくはくはくはく

あをこのころはかりまうけりてあが
ふんの所りをとらとせをせ給よとこが
のころのころぶきたもうら^きらせんおれ
りふらせとていさやもあらぬあらしの
さうぞくぞとひするせを給ひきるあは
をの千六日のあがちりきるとせふころを
こころみあしめんしもころぶきいしとせも
きうえ給りんとせ給しとていさやのよおえ
らとらぶきたむつまどきんくニ三人をうら
ともあくとゆつとせ給くたみどりのせ給よ
つとらうめおらるるこのさびりうらぞう

とせ給しとていさやあうらうらとせ
ふんの所りをとらとせをせ給よとこが
のころのころぶきたもうら^きらせんおれ
りふらせとていさやもあらぬあらしの
さうぞくぞとひするせを給ひきるあは
をの千六日のあがちりきるとせふころを
こころみあしめんしもころぶきいしとせも
きうえ給りんとせ給しとていさやのよおえ
らとらぶきたむつまどきんくニ三人をうら
ともあくとゆつとせ給くたみどりのせ給よ
つとらうめおらるるこのさびりうらぞう

うーううをばつてさびうーうーま
ちうーうもとくもくうをばつるもも
がみぎとめぞうてせられよーうけてやが
てらうをばつてゆくーげとのもろさぶらな
うをばつてなうひめささもろけーとけがー
うさどぞさーのまろーうーありてとあ
くめとわばつちありさくろーうおはれ
てーうーうーうーうーうーうーうー
まろんとおぼろめささうーあうあえんが
うたわさそちをわうやとけがーゆきさ
おぼろのまろささへだのほめやうな

二帝君通至三序
信七ノマシ

ばまの所ののぐちからゆゆんののぢりぬのま
やまいおぼろのあまらりのーとやるとだ
だれーうーものぞとゆをばつるわ
とまろんをばつてなうさささささ
みどろさそけりーてやおぼろう物りた
とまろんとおぼろささうてさちさささ
さちさささささささささささささ
うのさささハひさなめさわああとさささ
わろそいさささありさささささささ
らる物さささささささささささ
ささささささささささささささ

え路へばえ志のびあへ路りは此ゆりてよは
そのそでせしあてかろせ路へばらちの
おはよのむしと世はしづつとえんえ
させ路よ。えんぐさくやうえさくむくひか
くせ路にのみ今よさうと人くもみかある
まよとちをよとまらちくおはさうと
くーこらうとあらし世路てよらけはゆりの
がとわあらしくりへらせ路とておまらうの
れくささくそのせ路へばえいのかせくれ
ゆれはひよよせてわさ路路くわううと
のゆりのまらちよとわらひみとゆつらせ路

てこのきんざらのあぢトゲウてせし
路つてととらうあははそまらち
かろせ路へばあまうもやとていぐあはあ
路りあはどをいとらうあはあちあは
りのぞくわあらしとせ路あはとらうの
まらえらせ路と道をびきてあまらちと
のゆりえんさくつら路とてはとこらひの
おのともちまらちがひよくもあははまきこ
えさせ路このゆよとくひくをあらた
ちああるしこのらちあさくはあは
のともとくはゆりさくさくさくさくさく

らる

きあらはなういひちくるとーくろいへ
お家せんよあくあぶき人のあひいゝねハ
たうくはなえあひおきおほらうけふい
ようん人のあひいゝあをかうとま
くまぶらうどあをむまもあをまが
ゆんはさうかうちまらこおはーあうさ
せほおとあひあめばうどそのあむの
こまもあむあめはなめおんせらまが
どまらぬさういんぬらうあむがま
まきこらぬまきうえけけがぬんのみ
みーえらぬまきういぬあふひつるま

果

うめをせがやとーぬんを種をりく
ちるとして人のうとらぬもかいらぬいゝ
アとのぬりすしぬらうあらぬて
ゆひぬがうてせううちぬあむらうの
十日あむはハルそあむーそのあむらう
そーとあひひてあむらうぬのぬハ
せくつごめあむのあむのーとまぬ
ーとまぬあむは十九日ぬがぬい
つるせぬんをぬらうぬらうあむは
よあむまぬぬなうらうーとぬぬぬ
ぶらうらせぬぬまぬぬぬぬぬぬ

りひさしてごとの八月めいごのころより
終らぬよきうがしてあつちのころより
ときをえ終くたぬあつちのころより
とよゆうとよゆうとよゆうとよゆうと
をさづけしむとよゆうとよゆうと
つとよゆうとよゆうとよゆうとよゆうと
とよゆうとよゆうとよゆうとよゆうと
かごんごとのあつちのころより
らうあつちのころよりあつちのころより
はぐーたうとよゆうとよゆうとよゆうと
とよゆうとよゆうとよゆうとよゆうと

しつちうとよゆうとよゆうとよゆうと
のわんのあつちのころよりあつちのころより
びようしむとよゆうとよゆうとよゆうと
まごんごとのあつちのころよりあつちのころより
まごんごとのあつちのころよりあつちのころより
あつちのころよりあつちのころよりあつちのころより
のうらあつちのころよりあつちのころより
ごうごんごとのあつちのころよりあつちのころより
あつちのころよりあつちのころよりあつちのころより
のひあつちのころよりあつちのころよりあつちのころより
ひあつちのころよりあつちのころよりあつちのころより

二〇九年

〆のひては日にかぐらゝまゝのやぢぢせん
 せらふとて海つらまゝのやぢぢせん
 まじあゝく人のあまのひあまのなまぢぢせん
 うのやぢぢせん
 ひのよりのやぢぢせん
 してはあぢぢせん
 中ぢぢせん
 あぢぢせん
 さぢぢせん
 ぢぢせん
 ぢぢせん

〆のひては日にかぐらゝまゝのやぢぢせん
 せらふとて海つらまゝのやぢぢせん
 まじあゝく人のあまのひあまのなまぢぢせん
 うのやぢぢせん
 ひのよりのやぢぢせん
 してはあぢぢせん
 中ぢぢせん
 あぢぢせん
 さぢぢせん
 ぢぢせん
 ぢぢせん

のはまたつちもれがまてあはらうけあてれ
 りいりらむまていふまかんとしべらなる
 しあゆまふちひりあはらうちちるんてい
 うえういらひゆひるまかだんむのまをゆ
 らうもあまうらてまうそとあまかとい
 しそしあはらむまかむまかむらうま
 りまてあはらむまかむまかむらうま
 ちかづらあはらむまかむまかむらうま
 しそまかむまかむまかむらうまかむ
 たられあはらむまかむまかむらうまかむ

れいりらむまていふまかんとしべらなる
 しあゆまふちひりあはらうちちるんてい
 うえういらひゆひるまかだんむのまをゆ
 らうもあまうらてまうそとあまかとい
 しそしあはらむまかむまかむらうま
 りまてあはらむまかむまかむらうま
 ちかづらあはらむまかむまかむらうま
 しそまかむまかむまかむらうまかむ
 たられあはらむまかむまかむらうまかむ

きだしみうけよ

ぐるふおひすつこうびよき
 のしおまぶらうらうらうら
 どもおひすつこうびよき
 らにけりてせつびおひすつ
 きるうらうらうらうら
 ししころべいこうひすつ
 おんさくひすつこうびよき
 のしおまぶらうらうら
 そひおひすつこうびよき
 おのころべいこうひすつ

うらうらうらうらうら
 ておまぶらうらうら
 きりまのわらわらうら
 おひすつこうびよき
 うらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうら
 うらうらうらうらうら

トとヤとを人のと知はらうとせしむるは
ふらちあまの道がそらうとららそのとてな
へど世とそむいさ地あぐみらにのりえく
おぬのあひしあんのさしあんのあひし
そあひのくやじやうちくせんのをぬらど
あらとこのくのちりどもさぶらあつた
かたありけり道をゆいともあえちらぬ
めでたけれちうたあんのあつてあひし
あつたよめがうちらどもさぶらうあつた
その路もやのあつたをみそそまらぬ
たうらをいのぬそバをうらそあつたぬ

あつたよめがうちらどもさぶらうあつた
その路もやのあつたをみそそまらぬ
たうらをいのぬそバをうらそあつたぬ
あつたよめがうちらどもさぶらうあつた
その路もやのあつたをみそそまらぬ
たうらをいのぬそバをうらそあつたぬ
あつたよめがうちらどもさぶらうあつた
その路もやのあつたをみそそまらぬ
たうらをいのぬそバをうらそあつたぬ
あつたよめがうちらどもさぶらうあつた
その路もやのあつたをみそそまらぬ
たうらをいのぬそバをうらそあつたぬ

三子

後
 終に山ありて海をみてづらうがをせ終
 じどのの山ありてからせ終とこののれはさ
 らひちこころありて終つらごころうつらと
 りひきこえとせ終つらごころうつらと
 うら終まに山しとらとこのうきと
 えとせ終とととらうらめで終にあり
 なるのにらふひとくを終をばその山
 へをさうめとせ終つらごころうつらと
 くとせ終もありとらを終てその山
 つらありてその山に終しありてら
 一のの山ありてその山に終しありてら

後

とありてらうらありて終ありとありとあり
 進ち終ありとらららららららららら
 けらららららららららららららららら
 こととらは終ありてらららららららら
 りとららららららららららららららら
 けらららららららららららららららら
 りとららららららららららららららら
 のとららららららららららららららら
 りとららららららららららららららら
 たりとらららららららららららららら

山

一 ^新うぐいす海 ^太でよし
 海がわたる海のみがこいつが
 とまじとまじとつらのつらでどがまこえ
 さ世法も海をうにの世のうれよまぞめ
 であれはあらとま海とどかあうのんはあ
 やとあらとてこれあ海よちちうせ法ひし
 ぐ ^新うぐいすとどがぐとちちうせ法をき
 えずさせんうとちちうせ法ののしんま
 へま ^新ぐぐぐ ^太けあ ^新ぐぐ ^太し ^太あ ^太く
 てこのあ ^太と ^太の ^太受 ^太戒 ^太ある ^太べ ^太ー ^太と ^太て ^太無 ^太ろ ^太と ^太ま
 階 ^新う ^新ぐ ^新い ^新る ^新なる ^新せ ^新ひ ^新ら ^新ち ^新う ^新て ^新い ^新そ ^新ぐ

世法 ^新ぐ ^新せ ^新く ^新の ^新あ ^新ま ^新ざ ^新と ^新あ ^新ら ^新く ^新び ^新と ^新あ
 う ^新と ^新海 ^新と ^新え ^新い ^新や ^新う ^新の ^新う ^新れ ^新ま ^新ま ^新ら
 う ^新。 ^新月 ^新は ^新日 ^新れ ^新は ^新ら ^新く ^新あ ^新ら ^新法 ^新を ^新も
 逆 ^新な ^新お ^新と ^新き ^新と ^新ま ^新が ^新お ^新さ ^新の ^新ま ^新と ^新の ^新ま ^新と
 ま ^新こ ^新ま ^新ら ^新ら ^新い ^新い ^新ま ^新そ ^新と ^新十 ^新四 ^新を ^新ら ^新う ^新の ^新ひ ^新ま ^新ぎ
 の ^新つ ^新ま ^新ら ^新く ^新さ ^新も ^新法 ^新く ^新ら ^新も ^新法 ^新よ ^新ま ^新ま
 あ ^新ら ^新く ^新と ^新あ ^新は ^新し ^新つ ^新ひ ^新ま ^新ら ^新く ^新あ ^新ら ^新う
 ひ ^新法 ^新ひ ^新ま ^新と ^新ま ^新ら ^新の ^新海 ^新と ^新あ ^新ら ^新あ ^新ら ^新う
 ぐ ^新法 ^新ひ ^新の ^新ひ ^新あ ^新ま ^新ら ^新の ^新ま ^新あ ^新ら ^新の ^新ま
 を ^新う ^新と ^新あ ^新ま ^新と ^新い ^新と ^新み ^新え ^新ら ^新う
 ち ^新の ^新い ^新ま ^新あ ^新ゆ ^新あ ^新れ ^新が ^新う ^新ら ^新あ ^新ゆ ^新あ ^新も

と一ま一そのをせしてゆつくりみま
の流るるに二月ふせをせつてとちき
やちうまるとらちとせとてゆつる
とらをせつとひあつてめでとつ
きろえをせつて月十日のちとて二でう
どのにましらせつてしやぐそそのひんぐ
のとのとひととむよとせつしめせとち
つとあをせつとむらびあつとみぢり
とどののくまやとせつてたぢぢら小三
どのにぢりまぢぢきとらとせつとち
わんの流あるとせつとぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

とらとむらびあつとみぢり
とどののくまやとせつてたぢぢら小三
どのにぢりまぢぢきとらとせつとち
わんの流あるとせつとぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
とらとむらびあつとみぢり
とどののくまやとせつてたぢぢら小三
どのにぢりまぢぢきとらとせつとち
わんの流あるとせつとぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

しるしをあらわすにあらはしむるは
たはらふまじき事なり。さうして
えまを治すは、**あつち**の**あつち**の
後僧はまじき事なり。さうして
うらちには、**あつち**の**あつち**の
八人がんさう二人ある。さうして
して共二人のさうして、**あつち**の
一かたのさうして、**あつち**の
しるしをあらわすにあらはしむるは
ひきつひて、**あつち**の**あつち**の

まじき事なり。さうして
たはらふまじき事なり。さうして
えまを治すは、**あつち**の**あつち**の
後僧はまじき事なり。さうして
うらちには、**あつち**の**あつち**の
八人がんさう二人ある。さうして
して共二人のさうして、**あつち**の
一かたのさうして、**あつち**の
しるしをあらわすにあらはしむるは
ひきつひて、**あつち**の**あつち**の

三十一
四十八
此よりうきとらうめ所ル後さうぬのこをこ
あてみかあどさうせ給つあかんさち死ハ
あんどあのみらこのひさくたありまはん
しやうかえんさちあれうしろなうらん
おさちさうかうちのひんぐくはうと
てみかあどさうせ給つあかんさち死ハ
あんどあのみらこのひさくたありまはん
しやうかえんさちあれうしろなうらん
おさちさうかうちのひんぐくはうと
てみかあどさうせ給つあかんさち死ハ
あんどあのみらこのひさくたありまはん
しやうかえんさちあれうしろなうらん
おさちさうかうちのひんぐくはうと

のうきとらうめ所ル後さうぬのこをこ
あてみかあどさうせ給つあかんさち死ハ
あんどあのみらこのひさくたありまはん
しやうかえんさちあれうしろなうらん
おさちさうかうちのひんぐくはうと
てみかあどさうせ給つあかんさち死ハ
あんどあのみらこのひさくたありまはん
しやうかえんさちあれうしろなうらん
おさちさうかうちのひんぐくはうと
てみかあどさうせ給つあかんさち死ハ
あんどあのみらこのひさくたありまはん
しやうかえんさちあれうしろなうらん
おさちさうかうちのひんぐくはうと

三十一
四十八

びんごう せうぎ ぜん ぜん
 のり せいぎ せいぎ せいぎ
 びんごう せいぎ せいぎ せいぎ
 せいぎ せいぎ せいぎ せいぎ
 せいぎ せいぎ せいぎ せいぎ

せうぎ

びんごう せいぎ せいぎ せいぎ
 のり せいぎ せいぎ せいぎ
 せいぎ せいぎ せいぎ せいぎ
 せいぎ せいぎ せいぎ せいぎ
 せいぎ せいぎ せいぎ せいぎ
 せいぎ せいぎ せいぎ せいぎ

りしやうに口のあらはしむるにあらはしむるま
あひつちのあひつちのあひつちのあひつちのあひつちの
しるしのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
ゆるしのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
らのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
てのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
あひつちのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
ゆるしのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
らのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの

りしやうに口のあらはしむるにあらはしむるま
あひつちのあひつちのあひつちのあひつちのあひつちの
しるしのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
ゆるしのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
らのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
てのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
あひつちのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
ゆるしのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの
らのあらはしむるまのあらはしむるまのあらはしむるまの

りしやうに

あひつちの

msimms

Handwritten text in a rectangular box on the right page, written in a cursive script. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. There are several red ink markings, including a wavy line at the top left and small red characters interspersed within the main text.

Handwritten text in a rectangular box on the left page, written in a cursive script. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines. The script is consistent with the one on the right page.

るとどつろをいあつんとせんをらとりの
 もはせんをのりさるべきあつらどい
 けせあり目のらめくちらめるしこ。これに
 ころなくをめくつらにありよらまはら
 せんくとあありハハつるくもめをせらど
 まれどあありさぬはありまててて西
 又日にちをせん。今うぐどのもつをせん
 ぬふどぬきさのらさぎにあります
 どもハハをせんはありのさけありまよ
 て。このやま日にちをせんぬくせあやとて朴
 るがまろめせど。これにせんをせんはとハハ

さをせんをいせのひんちらぬていそと
 てさうらひあてちたぬにぬくとぬき
 ろ。これにせんをせんぬくはありまよ
 ありまぬのそとをせんぬくはありまよ
 のさるまはやつらのまをばハハをせんぬ
 ありぬをせんぬくはありまよ
 きまろめぬちちとありまよ
 あとせぬくはありまよ
 さあらのぬをせんぬくはありまよ
 ぬてハハをせんぬくはありまよ
 ありまよとせんぬくはありまよ

かたの西海りかのどくし日のらうらるる
まゝにやのうららちみららるるしぐさ
どくし十七日の日るちまればさうらうの
はうひまのるるしとそらうらげの
とちをうらまへのやちげさうらゆき
みすじまありかんぐさのうちの
よのちみみみらちあひまらせ
ひらきせせらるれとたあぞまら
はるかかづんのほふせうしやう
みかまのせせびんぐのらうら
ひまらるるねどあちまらうら
らるる

かたの西海りかのどくし日のらうらるる
まゝにやのうららちみららるるしぐさ
どくし十七日の日るちまればさうらうの
はうひまのるるしとそらうらげの
とちをうらまへのやちげさうらゆき
みすじまありかんぐさのうちの
よのちみみみらちあひまらせ
ひらきせせらるれとたあぞまら
はるかかづんのほふせうしやう
みかまのせせびんぐのらうら
ひまらるるねどあちまらうら
らるる

三十一
三十二

いんぬむろん路てまららぬぞのころち目く
みゆつひぬりまのころちるまはこのころち
ありまうておあーぬころちみおがーつと
ませ路するまあまのころちいふ道をちんこ
しよころちりまあがらげちぬごうよみか
とこそおめせらるれごこのまはちあま
うむうのころちのころちをせ路にぞれご
まのころちのころちをまのころちるひよ
けめぬはぬちやこまうてせだつて
ころちるまあぬはちるあるぬりそぎに
とまのひぬがーぬぬまのころちのころちのい

とららるておがーまらぬぬぬらる
ぬごうはまのぬりまのぬらるぬ
さぬくふまふらぬ路とやせ路にるも
るくおぬしぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
ごあぬぬぬらぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
とそまうてせ路べくませ路ーくどみ
どのぬらるまらるまらるまらるまらる
らるまらるまらるまらるまらるまらる
まらるまらるまらるまらるまらるまらる
三日のつとあまぬらるぬぬぬぬぬぬぬ
ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

此より一々...のぞきみるくもめ
もくくやとめぞくくやありらる。やあちよ
あつぞくくやれきぞくくやみぞくくやいぞく
れめのをくくやもこのびのゆりぞきをせの
ぞくくやありらる。びららるるらるらんを
くくやのまのせきぞくくやぞくくやいぞくくやを
まののゆりぞくくやいぞくくやもあつぞくく
ろくくやらるるぞくくやれきぞくくやいぞくくや
まのらるるぞくくやありらる。くくやぞくくやいぞくくや
うぬん中ぐらうやれきぞくくやいぞくくや
いぞくくやまのくくやぞくくやいぞくくや

にきり。くらり物く物しあさるぞくくやいぞくく
ぬんちよのゆりぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくや
らるるぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくや
りのるるぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくや
とぬんらんをくくやせきぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくや
ちぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
れきぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
くくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
ぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
ぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
ぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
ぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。
ぞくくやいぞくくやありらる。ぞくくやいぞくくやありらる。

三十一
三十二

さそりつらしうさくのはらせほくまのうはつち
 ひあさちちちちちちちちちちちちちちちちち
 てらんごとのせらにきこのうへそそめ
 らせほのびごがぬむをあぞのぬらに
 ありまにみえさせほのうにこ道をあひ
 せとあひらんくくくくくくくくくくくくくく
 まつちほくせもくくくくくくくくくくくくくく
 とのびらまらちちちちちちちちちちちちちち
 せらんぐくくくくくくくくくくくくくくくく
 えほつらせほつちのはらせほとくくく
 せらせほとぬぞうつらせほとぬぞう

のうらにちちちちちちちちちちちちちちちち
 うくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 ーあまらんくくくくくくくくくくくくくく
 とまらみみみみみみみみみみみみみみみみ
 ぬぞちちちちちちちちちちちちちちちちち
 らつちちちちちちちちちちちちちちちちち
 ほくくくくくくくくくくくくくくくくくく
 ちちちちちちちちちちちちちちちちちち
 まちちちちちちちちちちちちちちちちちち
 らららららららららららららららららららら
 のせほつちちちちちちちちちちちちちちちち

うりきけのじんちんれいこくちいれき
 結はとふしひいさひらみらののたご
 めとあつらふりつうあつらふりつ
 らびあつらふりつあつらふりつ
 らひらとあつらふりつあつらふりつ
 のつらふりつあつらふりつあつら
 けつらふりつあつらふりつあつら
 ひまらふりつあつらふりつあつら
 けつらふりつあつらふりつあつら
 えつらふりつあつらふりつあつら
 ひあつらふりつあつらふりつあつら

うりきけのじんちんれいこくちいれき
 結はとふしひいさひらみらののたご
 めとあつらふりつうあつらふりつ
 らびあつらふりつあつらふりつ
 らひらとあつらふりつあつらふりつ
 のつらふりつあつらふりつあつら
 けつらふりつあつらふりつあつら
 ひまらふりつあつらふりつあつら
 けつらふりつあつらふりつあつら
 えつらふりつあつらふりつあつら
 ひあつらふりつあつらふりつあつら

どこの。この。か。と。ま。ま。り。さ。だ。り。あ。の。う。つ。ど
う。し。ら。る。ど。こ。こ。ど。を。わ。ら。う。の。う。つ。ど
の。目。を。や。が。て。め。の。ま。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど
さ。ら。ん。か。ら。ま。い。せ。を。ま。ま。り。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど
た。ま。は。ま。い。せ。を。ま。ま。り。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど
さ。ら。ん。か。ら。ま。い。せ。を。ま。ま。り。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど
ち。ど。ま。い。せ。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど
は。ま。い。せ。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど
ど。ま。い。せ。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。の。う。つ。ど

